

帯那山 山行報告

【山 域】奥秩父

【日 時】2019年1月6日（日） 晴れ

【参加者】柘植（CL）、加藤、澤田路、菌田、秋本（記録）

【行 程】あまご養殖釣堀直売所（駐車）10:30→登山口 10:35→山頂 11:40～12:05(休憩)
→10分ほど→奥帯那山山頂（帯那山三角点）→別の道から登山口へ 14:00



【内容】

山梨 100 名山の一つ、帯那山に登ってきました。勝沼 IC から笛吹川フルーツ公園の横を歩いて山道を走ると、左手に「あまご養殖釣堀直売所」の大きな看板が現れます。営業はしていません。すぐ隣の駐車場には 5 台程度は停められそうですが、他に車や人気はありませんでした。ネット情報では、“駐車する際は近隣の人に伝えて”と書いてあったそうなので、人がいれば、おことわりを入れた方がよいのかもしれませんが。駐車場から少し登るとすぐに登山口の看板が現れます。少しの間は樹林帯の中の日が当たらない道で、登山道上に水が染み出して凍っています。すべらないように歩いていると、途中からは氷もなくなり、傾斜の緩い坂道をのんびり登ります。2 度ほど林道を横切り、展望が開けたなと思うと、あっという間に帯那山山頂の広場に出ます。山頂に雲はかかっているものの、富士山の展望は素晴らしく、反対には奥秩父の山々。360 度見渡せます。林道を走れば山頂まで 10 分のところまで車で登れるそうなので、それでこの眺望はお得です。アヤメ群生地の標識もあり、花の季節には楽しめそう。もちろん、登山口から登るのも手軽なハイキングが楽しめて◎。

帯那山三角点は、山頂から少し歩いた奥帯那山山頂にあります。標高 1422m。山頂で休憩した後、すぐそばにある三角点（奥帯那山の山頂の看板あり）を確認し、再び山頂に戻ってから元来た道と反時計周りに出発地点に戻るコースをたどります。不明朗な尾根を GPS に従って進むと、途中で道がなくなり、とげとげのいばらに囲まれたり、戻ったりしながら、林道に辿りつきました。ダイナミックに森林伐採されている斜面や、おしゃれな電波塔など、いくつか見所を通過しながら、さらに林道を歩き、出発地点の養殖釣堀に戻った後は、翌日の天狗岳に向けて、早めに石和温泉健康ランドへ移動し、温泉と食事を楽しみました。

記録：秋本圭子



廃林道のような登山道



山頂部は気持ちのよいカヤト



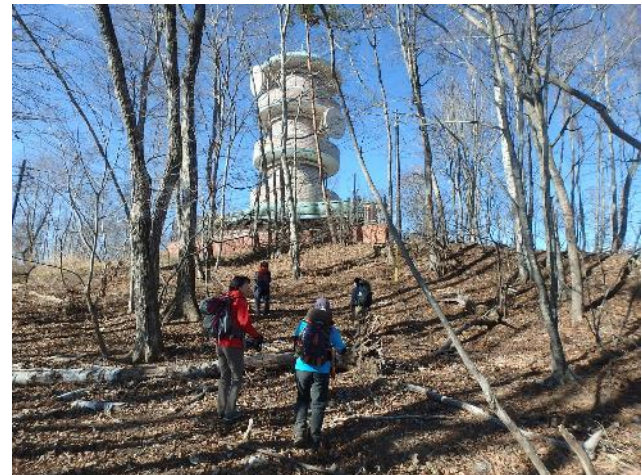
帯那山の山頂標識



三角点には奥帯那山の標識



幾何学的文様の伐採斜面



意味不明な形状の電波塔